
白と黒

うな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白と黒

【コード】

N2690Y

【作者名】

うな

【あらすじ】

今日は愛しの彼との結婚式。私は世界で一番幸せな○○。

目を閉じれば夢になっちゃうんじゃないかって。不安で瞬きを我慢していたら涙がじわっと滲んだ。

煌めく鏡の向こう側、少し霞んだ視界に映るのは純白のドレスを身に纏ったわたし。ずっとずっと欲しくてたまらなかつた彼の隣りに立つ感触が嬉しくて、さっきとは違った涙が頬を伝う。

長かった。本当に長かった。彼に片思いしてから今日までの時間は苦難の連続で、今日だって大団円というわけじゃない。わたしや彼の両親を筆頭にこの結婚式を快く思っていない人は結構多い。

悲しいけど、仕方ないとも思う。中小企業とはいえ彼は社長の御曹司。私は……所謂お水というやつで、そのうえ子供を産むこともできない。彼の両親からしてみれば歓迎する点なんて何一つないのだろう。

だけど私と彼は愛し合っているから、こうして周囲の反発を押し切って結婚式を挙げようとしている。彼は勘当覚悟で、私は世間の冷やかな視線を受け止めて。

「ん……変なところ、ないかな？」

湧き上がる負の感情を振り払うように鏡に映る己の姿を見据える。プロのメイクと豪華な服装のおかげだろうか、普段見慣れた自分よりずっと綺麗な人がそこにいて。だからこそ、それらを台無しにする忌々しい黒のラインがはっきりと目にとまった。

「ちっ、もう生えてきやがった」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2690y/>

白と黒

2011年11月6日04時13分発行